

Produced and Distributed by GROUP GENDAI FILMS CO., LTD.
<http://www.g-gendai.co.jp/>

NO SURRENDER

自分にたどり着くまで

Boxer 飯泉健二

ノー・サレンダー

NO SURRENDER

自分にたどり着くまで
Boxer 飯泉健二

ボクシング、
ボクシング、
ボクシング。
先の見えない
孤独な闘いが始まった。

80年代、ロサンゼルスで手渡された一本のカセットテープ。
耳に飛び込んできた曲は「ノー・サレンダー(屈するな、負けるな、あきらめるな…)」。
あの時からブルース・スプリングスティーンのがく声が心から離れない。

日本ボクシング史上に名を残すあの男が今蘇る。

ボクシングファンの心の中に今も熱い灯をともし、語り継がれる伝説のボクサーがいる。飯泉健二。ボクシングを初めて観戦する者からボクシング通を自認する者まで。さらにプロのボクサーすら後楽園ホールに足を運んだすべての観客を魅了し熱狂させ酔わせた。すべての観客の目はリングに釘付けとなり、知らず知らずの内にのめり込み、声をあげ、立ち上がり、拳を振り上げ叫び、飯泉と一体化する。無意識の内に熱狂というひとつの坩堝の中にとけ込んでしまう。それはまさに飯泉を核とした小宇宙だったといえよう。ライトに浮び上がる端正なマスク、自信に満ちた揺るぎのない目。どのような相手に対しても決して臆することのない勇氣、鍛え上げられた肉体と攻撃一筋、勇敢なボクシングスタイル。強打に屈しない強靱な精神力、そして壮絶なファイト。飯泉はまさにボクシングの魅力を具体化する男だった。およそボクシングを賛美する要素を兼ね備えた類い希なボクサーだった。その将来を期待された飯泉に突然襲いかかった網膜剥離、そしてボクサー生命を失う引退勧告…。この試練からまた新たな飯泉の戦いが始まった。

この作品は引退勧告後の飯泉健二の戦いを記録したドキュメンタリーである。飯泉という圧倒的な存在、すさまじいまでの生き様は、どのような形容も受け付けず、不屈の魂、強靱な精神力などといった言葉はこの男の前では風に舞ってしまう。言葉では表現しきれない「人間の生」がそこにある。永伊智一監督は映像の持つ可能性を極限まで追求し、おのれの感性を磨き上げ、飯泉の真実を歴史に留めようとした。飯泉を時の流れに埋没させてはならない。その信念が結実し、美しいまでの映像に昇華している。ボクシングまみれがあく飯泉の9年間をシャープに表現した。深い感銘と感動を越えて、人の心に火を灯す。日本ボクシング史上に名を残す飯泉健二は今、日本の映画史上に蘇ったのだ。

ボクシングファン 北村孝至

EL NOI DE LA MARE

エンディングテーマ曲「聖母の御子」岩永善信
Iwanaga Meets Iizumi <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~iwanaga/>

2001年/ビデオ/90分/監督:永伊智一/音楽協力:岩永善信/製作協力:アトレ企画
制作配給:(株)グループ現代 Tel.03-3341-2863 <http://www.g-gendai.co.jp>

©飯泉健二(いいずみ けんじ)
1967年1月27日生まれ。埼玉県出身。
中学2年の時ボクサーを志し、ボクシングの名門、栃木県の足利学園に進学。プロを目指し1年で中退。84年、17才で草加有沢ジムよりバンタム級としてプロデビュー。50秒KOで鮮烈デビューを果たす。86年、87年と2年連続でフェザー級A級ボクサー賞金トーナメントで優勝。86年には無敵だった黒人、マーク堀越を7回TKOで下しその名を全国に広げた。日本タイトルマッチに2度失敗し、その後アメリカに渡り1戦1勝で帰国。88年よりスーパーフェザー級へ転向。4連続KOと波に乗るさなか、網膜剥離にかかり、89年引退勧告を受ける。その後もトレーニングの日々を続け、98年IBFよりカムバックが認められる。その間、9年、孤独でハードなボクシングまみれの生活を貫き通した。23戦20勝3敗(17KO)

5月12日(土)~25日(金)まで
夜8時50分よりレイトロードショー
特別鑑賞券1400円好評発売中!

■当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円

★ボクシンググローブ
持参の方は1000円で
ご覧いただけます!!★

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分

シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416

(シネ・ヌーヴォのホームページ)アドレス
<http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/>

地下鉄中央線 一町

九条駅

大阪港	フルタ	ナルト	6番出口
シネ・ヌーヴォ	オモト	マクドナルド	うどん
	オモト	パチンコ	商店街
	オモト	パチンコ	アーケード
大阪ドーム			